

平成30年度森永ミルク中毒事件全国担当係長会議
講義レジュメ

2019年1月28日

新妻 義輔 (にいづま よしすけ)

元朝日新聞大阪本社編集局長

食品中毒事件救済に「新しい地平」切り拓く
～森永ヒ素ミルク中毒の被害者 いのちのたたかい64年～

- ・希望の光 「14年目の訪問」 あれから50年
- ・「ぼくは 森永の被害者でよかった」
- ・心の中で生き続ける故 丸山博先生
- ・事件はまだ終わっていない
- ・自分を責めるお母さん 「この子を全力で守ります」
- ・「絶望のど真ん中で希望は生まれる」「明けない夜はない」
- ・「14年目の訪問」との出会い そのきっかけ
- ・人間をパーセントで見るな 苦い経験
- ・「四つの眼」と「三つの感性」
- ・小さなことをコツコツ積み重ね、小さな力を一つひとつ集めていけば大きな成果につながる
- ・「恒久救済」——新しい地平を切り拓く
- ・人生にもう遅いということはない
- ・たとえ明日、世界が滅びるとしても、私はリンゴの木を植え続ける
- ・年を重ねるだけでは人は老いない 理想を失う時に初めて老いる